



i-Reporter

導入事例

社内帳票類のデジタル化にi-Reporterを採用！
外部システムとの連携でさらに業務の効率化を実現

(伊福精密株式会社)

社内帳票類のデジタル化にi-Reporterを採用！ 外部システムとの連携でさらに業務の効率化を実現

伊福精密株式会社（非鉄金属製造）



伊福精密株式会社（以下、伊福精密）は3D金属造形サービス、切削・放電加工、精密部品加工、金型加工、試作、検査・計測業務を行う金属加工メーカー。業界他社の追随を許さない高い切削加工技術を持ち、「金属加工の駆け込み寺」とも呼ばれている。同社では、これまで注文書や出張報告書、加工指示書など、社内に回っている帳票類が全て紙で運用していたが、デジタル化に向けてi-Reporterを導入。紛失や確認漏れがなくなり、不備があった場合にかかる修正作業の時間の大幅削減に成功した。さらに、外部システムと連携することで「現場で今起きていること」がより把握しやすくなる仕組みを整備し、業務の効率化を実現している。



USER'S VOICE



製造部 部長
宮本 智幸氏

「これまで、製造現場内の帳票は昔ながらの紙で運用しており、現場内で紛失したり、汚れる、保管場所が膨張していくなど問題がありました。

今では加工方針書の発行から、出荷検査、納品までの一連の流れに加えて、設備点検表など様々なシーンでi-Reporterを活用しています。現場担当者が1人1台iPadを持っているので、作業現場のどこからでも記入と帳票の確認が可能です。

その結果、現場で使う紙帳票を50%削減でき、紙媒体の保管場所も低減にもつなりました。

INTERVIEW

YouTubeでインタビュー動画を公開中！実際の活用事例や効果について教えていただきました。



**i-Reporter導入で業務を効率化！
さらなる先をめざした、外部システムとの連携**

抱えていた課題・導入後の効果・外部システムとの連携...詳細は次ページへ ▶

課題

膨大な量のデータを紙で記録・管理、 紛失の恐れや修正を探すのに時間を費やす日々...

- 紙帳票には、現場内で**紛失したり、汚れる、保管場所が膨張**していくなど問題が起こっていた。
- さまざまな紙帳票が社内の決済の途中に**紛失してしまう**ことが度々あった。
- 社外からの帳票の内容の不備が指摘された場合、膨大な紙帳票からに該当のものを**探すのに時間を費やす**ことがよくあった。
- 紙帳票の間違いを訂正するための**コミュニケーションに時間**がかかっていた。



効果

事務所でも現場でも、 i-Reporter導入で業務効率化の達成を実感！

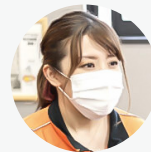


事務所と現場とのコミュニケーションの際も移動のストレスがなく、テンポよくやりとりができます。紙の量、移動時間、紙帳票を探す時間が削減され、業務効率が向上しました。

(総務部部长 伊福 照恵氏)

現場に直接出向くか、電話で行っていた生産数の確認もリアルタイムに事務所にいながら確認できるようになりました。

(営業部部长 杭田 真梨子氏)



帳票を紛失することもなく、確実に綺麗な状態で保管できるので、見間違いことなく確認できるのは管理側としては嬉しい点です。

(製造部/副工場長 上杉 聖氏)

連携

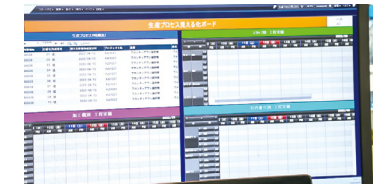
「Box」、「MotionBoard Cloud」との連携で 「現場で今起きていること」をより把握が可能に！

i-Reporterを2つの外部システムと連携し、手間のかかる作業を自動化

i-ReporterからBox内のExcelに直接アクセスし、データを取得。
i-Reporter帳票内に配置した検索ボタンを押すと、社内番号をキーにしてBox内の必要な情報を検索してi-Reporter帳票内に自動で転記される。



現場作業者がi-Reporterの加工方針書に記入した各工程のデータ・進捗をMotionBoard Cloudと連携。
各工程それぞれの加工機、人、製品の実績データがi-Reporterから取り込まれ、自動的にガントチャートの形式で表示される。



i-Reporterで膨大なデータを見える化！ 外部システムの連携で業務がさらに効率的に

i-Reporterに蓄積された、膨大な量の様々な帳票データ。
伊福精密では、これらの現場情報をBoxやMotionBoard Cloudと連携させ、現場担当者や管理者と共有することで、「現場で今起きていること」が一層把握しやすくなる仕組みを実現している。

現状抱えている課題や問題点により早く気付ける取り組みを今後も行っていきたいと考えています。

(執行役員/技師長 中西 純一氏)

